

# 2014/12/14 の定期メンテナンスにおける kintone API更新の事前情報（2回目）

2014年12月14日の定期メンテナンスで、[前回お知らせ](#)した項目のほかに、kintone APIの次の不具合が改修されることになりましたため、お知らせします。

## JavaScript API

### 改修される不具合

- フィールドの変更イベントで、一部のタイプのフィールドのerrorプロパティに値を入れてエラーメッセージを表示すると、その後errorプロパティをクリアしても、画面上のerrorのメッセージが消えない。
- プロセス管理機能を有効にしたアプリで、編集権限を持たないフィールドがフォームにあると、そのフィールドの値を更新したかどうかに関わらず、ステータスの変更失敗する。
- APIでフォームのカテゴリフィールドを編集不可にできない。  
※2014年11月9日のアップデートでkintoneに追加された、新デザインを適用した場合のみに発生する不具合です。
- 計算式が参照するフィールドが空の場合に、レコード編集画面で関数「kintone.app.record.get()」を使用して取得される計算フィールドの値が正しくない。  
(改修前)：「#N/A」  
(改修後)：空